

平成26年度 研究課題実施結果一覧表

【平成26年度終了課題】

【センター名】 研究課題名	研究 期間	総研究費 (千円)	研究目的
【保健環境センター】 健康被害をもたらす原因化学 物質探索システムの開発	H24～ 26	23,753	健康被害をもたらす薬物を迅速かつ簡易に推定 するシステムの開発
【保健環境センター】 県内自動車関連製造業へのL CA（ライフサイクルアセス メント）導入に向けての研究	H25～ 26	29,527	自動車製造に係る様々な工程・業種に対応する 中小企業向け環境影響評価のためのシステム開 発
【西部工業技術センター】 車載部品エレクトロニクス化 における安全性向上技術の開 発	H24～ 26	49,840	県内の車載部品サプライヤの車載電装品開発支 援及び国際認証取得に有用な基盤技術の開発
【農業技術センター】 ブドウの棚下空間を利用した 収量3割増加技術の開発	H24～ 26	52,828	栽培に利用されない棚下空間の光環境を改善し て果実の生産の場として活用し、収量を3割増 加させる技術の開発
【水産海洋技術センター】 地域ブランド化に結びつくウ マヅラハギの蓄養・養殖技術 の開発	H24～ 26	54,300	漁獲されたウマヅラハギを養殖し、肝臓を肥大 化させる養殖技術の開発及び種苗生産技術の確 立
計		210,248	※総研究費：人件費込み

成果目標	最終実績	今後の取り組み方針	成果集頁
簡易推定システム構築	<ul style="list-style-type: none"> ・目標薬物の一斉検出手法を開発 ・物質推定に要する時間を数週間～数か月から1日に短縮 	県内外の衛生研究所に関係会議で情報提供し、技術移転を図る。	-
自動車製造業向けLCA導入システムの構築	LCA導入システムを構築	取組中の企業支援を継続するほか、県内の自動車関連企業の組合に情報提供して導入促進を目指す。	8
基盤技術（マニュアル等）の作成	マニュアル作成	研修会などにより企業に技術移転を図る。	10
3割増収する技術の開発	収量3割増技術を開発	現地モデル園を利用したセミナーなどにより成果移転を進める。	12
肝臓を約1ヶ月で体重比5%から10%に増量及び安定種苗生産技術確立	<ul style="list-style-type: none"> ・約1ヶ月で肝臓を10%以上に増量させる技術を開発 ・安定種苗生産技術を確立 	市場関係者と連携して取得した商標「フォアグラハギ」の普及・ブランド化を図るとともに、品質保持方法の改良について検討する。併せて養殖ハギの安定的な生産供給の実現を目指す。	14

【継続課題】

【センター名】 研究課題名	研究期間	研究目的	最終目標
【西部工業技術センター・東部工業技術センター】 炭素繊維加工産業創出プロジェクト	H24～ 29	炭素繊維複合材料の加工技術の開発と製品化に向けた検証・評価	製品販売額 7 億円 (H28)
【西部工業技術センター】 産業用ロボット次世代生産システム開発プロジェクト	H25～ 27	生産現場へのロボット導入を促進するための低コスト化, 平易操作化を図りメーカーに依存しない共通制御技術, 操作技術の開発	コスト削減額 1 億円 (H28)
【東部工業技術センター, 農業技術センター, 畜産技術センター, 水産海洋技術センター】 特殊LED照明開発プロジェクト	H25～ 27	農林水産及び工業分野の特殊用途向けLED照明技術の開発	製品販売額 12 億円 (H28)
【食品工業技術センター】 広島の名物料理と相性の良い新カテゴリ商品 (低アルコール清酒) 開発	H25～ 27	広島の名物料理と相性の良い新カテゴリ商品 (低アルコール清酒) 開発	県内酒造会社 5 社に技術移転
【食品工業技術センター】 常温流通型形状保持軟化食品の開発	H26～ 28	常温流通可能な形状保持軟化食品の製造技術の開発	製造コストの 30%ダウン
【西部工業技術センター】 新たな組織制御による高強度アルミニウム成形技術の開発	H25～ 27	既存のダイカスト装置を利用して, 鍛造部品並みの強度を持つアルミダイカストを製造する技術の開発	鍛造部品と同等の引張強さ及び伸びの実現
【畜産技術センター】 ダイレクト移植の受胎率を向上させる新たな技術開発	H26～ 28	農家の庭先で簡単に凍結受精卵を融解し, すぐに移植する技術の開発	器具開発と製品化
【林業技術センター・西部工業技術センター生産技術アカデミー】 県産材生産の収益性向上のための採材ナビゲーションシステムの開発	H26～ 28	現地作業の効率化を支援する採材ナビゲーションシステムの開発	採材ナビゲーションシステムの開発